

Ⅲ 岡山市教育振興基本計画平成28年度アクションプランにおける主な事業

1 岡山市が目指す教育

岡山市では、未来の希望である子どもたちが次代を生き抜いていくための資質として、自立を掲げ、「自立する子ども」の育成を目指しています。「自立する子ども」を実現するには、「豊かな人間性」、「自分を高める」、「共に生きる」という3要素を発達段階に応じてバランスよく伸ばしていく必要があります。

そのために、学びの高まりを目指す「岡山型一貫教育」と学びの広がりを目指す「地域協働学校」とを軸にした取組を、市民協働で進めています。

また、市民協働の人づくりの基盤として、本市教育全体に流れる基調は、人権尊重の理念です。すべての取組において、一人一人の人権が尊重され、一人一人の生命と尊厳が守られる家庭、学校園、地域社会の実現を目指しています。

さらに、本市ではESDを推進しており、全ての教育活動にESDの視点を生かしていくことで、子どもたちが将来の持続可能な社会の担い手として育っていくことを目指しています。

<岡山市の教育が目指す市民協働の人づくりのイメージ（学校園版）>



岡山市の教育理念を実現するための6つの政策

本市では、岡山市市民協働による自立する子どもの育成を推進する条例（愛称：岡山っ子育成条例）第8条に掲げた市の責務を計画的かつ効果的に履行するために、平成25年1月に岡山市教育振興基本計画を策定し、教育部分の詳細版として位置付けました。平成25年度から、この計画に基づいて教育行政を展開しており、条例に掲げた本市の教育理念の実現に向けた取組を進めています。

豊かでしなやかな心をもった子どもの育成

豊かで多様な体験活動を通して、社会の一員としての自覚を促すとともに、規範意識や人権尊重の精神に根差した思いやりの心を養います。あわせて、地域の環境や地域に暮らす人との関わりを積み重ねる中で、我がまちを大切にできる心情や国際社会に生きる実感を育てていきます。また、こうした感性や情緒面の育成だけでなく、判断力や克己心、忍耐力などを養うことで、高度情報化社会の中であって、溢れる情報に左右されることなく、自律した行動や責任ある態度がとれるよう、しなやかな心も育てていきます。

主体的に学び続ける子どもの育成

質の高い就学前教育を保障して学びの基盤を確かなものにするとともに、発達段階に応じた段階的な指導を行うことで、自ら考え実践する確かな学力が身に付けられるよう支援していきます。また、教科学力だけでなく、多様な個性を受け入れて伸ばす豊かな学習資源を開発・提供することで、グローバル社会に対応できる総合的な学力の育成を目指します。さらに、一人一人を大切にしたいきめ細かな学びの支援を行い、すべての子どもが主体的に学び続けるための力や態度を養うことで、少子高齢化社会の中にあっても、社会全体の活性化を進める担い手を育てていきます。

健やかな体でたくましく生きる子どもの育成

日常的な体力づくりの機会を充実させることで、健やかな体を主体的に育もうとする態度を養うとともに、生きる力を支える重要な要素である体力の向上、食習慣の充実を図っていきます。

建設的な人間関係を築く子どもの育成

学び合い高め合う集団づくりの場を充実させることで、一人一人の健全な心と体を育みつつ、不登校・いじめ・暴力行為などを生まない、健全で建設的な人間関係づくりを進めていきます。また、人づくりを軸に、学校園と家庭・地域社会が連携して学びの広がりを目指す取組を進めることで、社会が人を育み、人が社会をつくる好循環の構築を目指します。

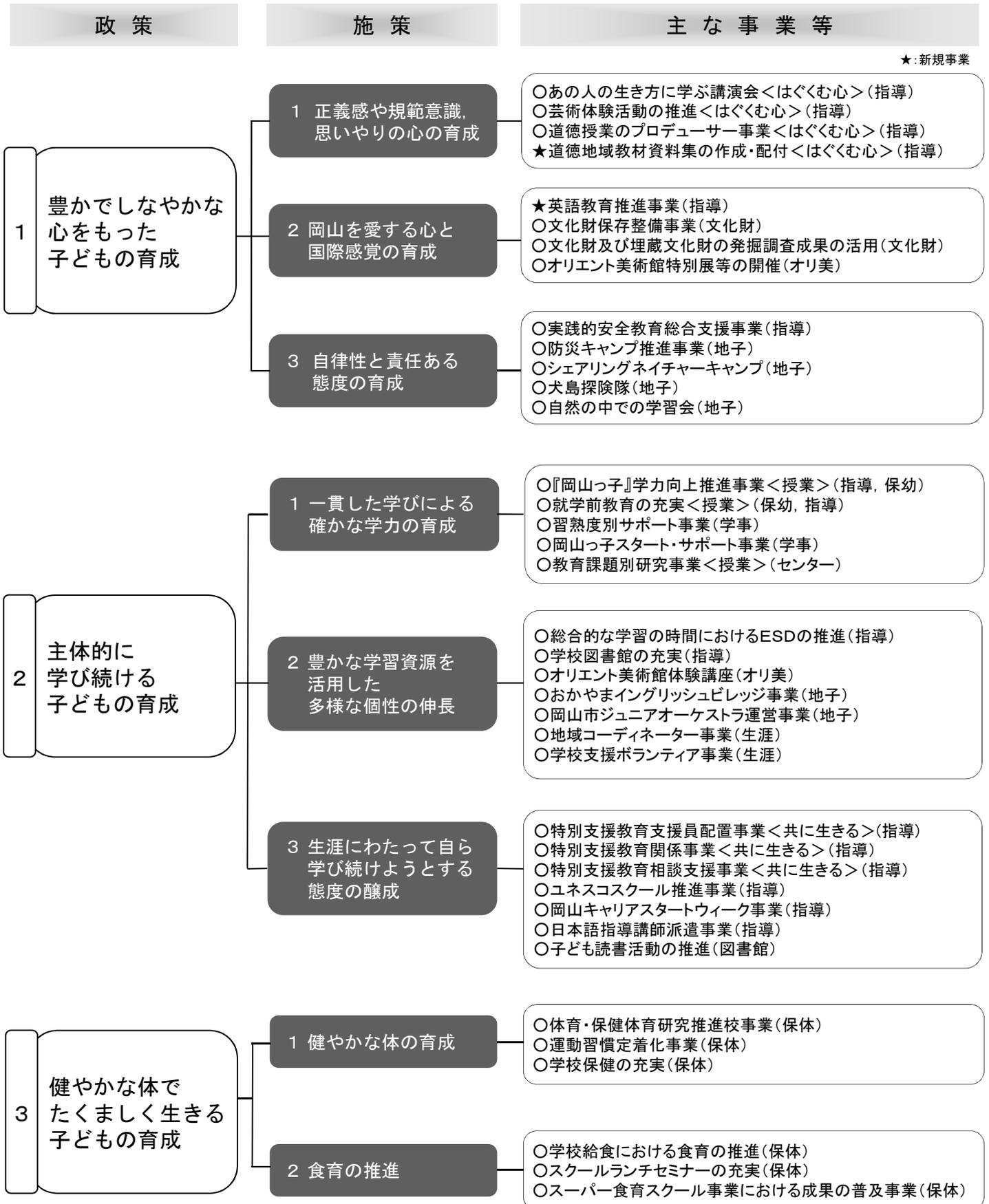
家庭、学校園、地域社会のネットワークを生かした教育環境の充実

家庭や地域社会が責任をもって子どもたちに関わり、学校園や行政がその取組を支援することで、子育ての孤立を防ぐとともに、家庭や地域社会の教育力の向上を目指します。

学校園の組織力を生かした教育環境の充実

学校園の組織体としての力の向上を図ることで、効果的かつ効率的な学校運営を進めていきます。あわせて、個々の教職員の立場や経験に応じた支援も充実させることで、学校教育全体の質的な向上を目指します。さらに、安全・安心に配慮した施設や質の高い教育環境を整備することで、子どもも教職員も、学びに集中できる学校園づくりを進めます。

2 施策・事業体系図



★:新規事業

政策	施策	主な事業等
4 建設的な 人間関係を築く 子どもの育成	1 学び合い高め合う 建設的な 集団づくりの推進 2 学校園と家庭・ 地域社会との 協働体制の確立	★:新規事業 ○共に成長し合う学級集団づくり推進事業<ストップ>(指導) ○特別活動の授業改善(指導) ○地域協働学校の推進と学校評価の充実(指導) ○スクールカウンセラー配置事業<ストップ>(指導) ○いじめ専門相談員派遣事業<ストップ>(指導) ○不登校児童生徒支援員配置事業<ストップ>(指導) ○問題行動等対策事業<ストップ>(指導) ○教育相談室・適応指導教室整備事業<ストップ>(指導) ○教育広報紙の発行<広がる>(教企) ○教育に関する総合調査<広がる>(教企・保幼) ○こらぼミーティング<広がる>(教企)
5 家庭、学校園、 地域社会の ネットワークを 生かした 教育環境の充実	1 家庭における 教育力の向上 2 地域社会における 教育力の向上	○PTAにおける人権教育の充実(指導, 保幼) ○家庭教育支援事業(生涯) ○子育て支援情報及び講座の充実(公民館) ○子育て支援「のびのび親子広場」事業(保幼) ○絵本の読み聞かせ事業(図書館) ★インターネット予約図書を受取・返却窓口拡充事業(図書館) ○公民館ESD活動推進事業(公民館) ○公民館講座の拡充(公民館) ○子ども会リーダー・育成者研修事業(地子) ○放課後子ども教室推進事業(地子) ○新成人の集い事業(地子) ○わくわく子どもまつり(地子) ○操山地区公民館建設事業(生涯) ○公民館耐震改修整備事業(公民館)
6 学校園の 組織力を生かした 教育環境の充実	1 学校園の マネジメント力の 向上 2 教職員の資質能力の 向上 3 安心して 心おきなく学べる 教育環境づくり	○マネジメント力向上研修(センター) ○学校問題解決サポート事業<ストップ>(指導) ○特色ある岡山市教職員採用試験実施事業<育成>(学事) ○教職員研修事業<育成>(センター, 保幼) ○教職員の力量を高める教育研究事業<育成>(センター, 保幼) ★若手教職員の育成事業<育成>(センター) ○学校園における人権教育の充実(指導, 保幼) ○教育ポータルサイト運営事業(指導) ○ICTを基盤とする情報活用能力アップ事業<サポート>(就学) ○学校業務アシスト事業<サポート>(学事) ○部活動サポート事業<サポート>(保体) ○学校園耐震改修整備事業(施設, 保幼)

< >内は事業群名 はぐくむ心…はぐくむ心・あったかハート事業, 授業…授業が変われば学校が変わる!プロジェクト
 共に生きる…共に生きる子どもを育てる障害児支援事業, ストップ…ストップ・ザ学校問題
 広がる…広がる教育の輪～広報広聴活動の充実事業～, 育成…教職員育成プロジェクト
 サポート…教職員サポートプロジェクト

()内は担当課 教企…教育企画総務課, 施設…学校施設課, 学事…学事課, 就学…就学課, 指導…指導課
 センター…教育研究研修センター, 保体…保健体育課, 生涯…生涯学習課, 図書館…中央図書館
 公民館…中央公民館, 文化財…文化財課, オリ美…オリент美術館(以上, 教育委員会事務局)
 地子…地域子育て支援課, 保幼…保育・幼児教育課(以上, 岡山っ子育成局)

※ 主な事業等の中には, 学校その他の教育施設が日常的に行っている取組も入っています。

3 クローズアップ

6つの政策15の施策を推進し、教育課題を計画的に解決していくためには、政策・施策ごとの事業の精選・充実はもちろんのこと、政策や施策の枠を超えた横断的かつ重点的な取組も必要です。ここでは、平成28年度の事業の中から、喫緊の教育課題に対して、横断的かつ重点的に取り組む事業を紹介します。

本年度は「Ⅰ 学力向上への取組の推進」「Ⅱ 学校問題の解決」「Ⅲ 教職員の資質能力の向上」「Ⅳ 教育環境の充実」の4つのテーマ（教育課題）を設定しました。

Ⅰ 学力向上への取組の推進

学力向上に関する課題について、「授業力」という観点で課題解決を図っていきます。特に本年度は、岡山市教育振興基本計画の**政策1**及び**政策2**に関わる事業を連携させながら重点的に取り組んでいきます。

Ⅱ 学校問題の解決

「不登校」や「暴力行為」「いじめ」については、改善の兆しを掴みつつも、十分な解決には至っていません。これまで行ってきた「未然防止・早期解決」「心の育成」といった観点からの取組をさらに充実させていく必要があると考えます。特に本年度は、岡山市教育振興基本計画の**政策1**、**政策4**及び**政策6**に関わる事業を連携させながら重点的に取り組んでいきます。

Ⅲ 教職員の資質能力の向上

本年度から市単独の教職員採用試験が始まります。本市の独自性を生かした「人材確保」や「人材育成」といった観点からの取組を充実させていく必要があります。特に本年度は、岡山市教育振興基本計画の**政策6**に関わる事業を連携させながら重点的に取り組んでいきます。

Ⅳ 教育環境の充実

学校園や公民館、図書館が心おきなく学べる場となるように、さらなる教育環境の充実を図る必要があります。特に本年度は、岡山市教育振興基本計画の**政策2**、**政策5**及び**政策6**に関わる事業を連携させながら重点的に取り組んでいきます。

なお、それぞれのテーマの課題解決に向けては、クローズアップ以外の事業も連携させながら横断的な取組を実施していきます。

<岡山市教育振興基本計画政策一覧>

政策1 豊かでしなやかな心をもった子どもの育成

政策2 主体的に学び続ける子どもの育成

政策3 健やかな体でたくましく生きる子どもの育成

政策4 建設的な人間関係を築く子どもの育成

政策5 家庭、学校園、地域社会のネットワークを生かした教育環境の充実

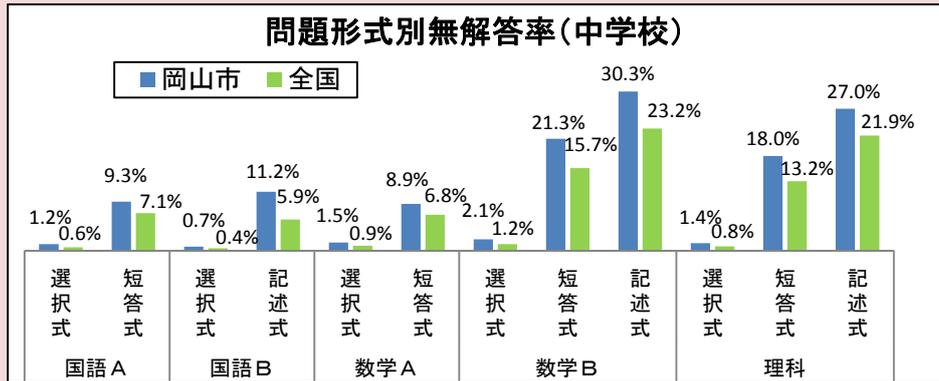
政策6 学校園の組織力を生かした教育環境の充実

I 学力向上への取組の推進

現状と課題

授業力

全国学力・学習状況調査などの結果から、本市の児童生徒は、読解力や表現力に課題があることが分かっています。無解答率(何も解答していない割合)について、ほとんどの問題で全国平均より高いのですが、特に記述式の問題でその傾向が強くなっています。



出典: H27年度全国学力・学習状況調査(文部科学省)

昨年度は、市内で統一して授業における「めあて」「まとめ」の徹底を図りました。学校の授業はわかりやすく楽しいと感じている児童生徒が増えていることから、一定の効果があったと思われます。今後は、児童生徒が自分で考え、表現する場を設定するなど、さらに授業の質を高めていくことが課題となります。

内容	小学校 H26→H27	中学校 H26→H27
学校の授業はわかりやすく楽しいと感じている児童生徒の割合	82.5%→83.5% (+1.0%)	63.5%→66.8% (+3.3%)

出典: 教育に関する総合調査(岡山市)

英語教育の充実

H32年の東京オリンピック・パラリンピックを見据え、子どもたちが世界で幅広く使われている英語を聞き、話す力を身に付けるなど、グローバル化に対応した教育が必要となっています。文部科学省から「生徒の英語力向上推進プラン」で、「英検3級以上相当の英語力を有すると思われる生徒数の割合」について、H32年度の目標値が60%と示されました。英語教育実施状況調査によると、その項目の本市のH26年度の結果は全国平均(34.7%)を下回っている状況です。さらに、本市は全国平均と比べると、授業中に子どもたちが英語を使ってやりとりする場面が少ないこともわかっています。

これらのことから、子どもたちが英語にふれる機会を増やしたり、教員の英語力、指導力の向上を図ったりすることで、子どもたちの英語力向上を目指すことが必要です。

内容	H26→H27
英検3級以上相当の英語力を有すると思われる生徒(中学校3年生)数の割合	29.2%→39.6% (+10.4%)

出典: 英語教育実施状況調査(文部科学省)

重点的に取り組む事業

「授業が変われば学校が変わる！」プロジェクト

授業改善を通して授業力向上

【拡充】『岡山っ子』学力向上推進事業

(政策2-1)

【新規】岡山市学力アセス

教科の底上げ、人材育成

独自調査を実施することで、全市的な教科研究を行い、「岡山型一貫教育」を推進

全国学力・学習状況調査

教員の指導力アップ

大学と連携し、誤答分析等から本市の目指す「よりよい授業づくり」のモデルを示す

いきいき学校園づくり

研究視点の共有化

中学校区で目指す子ども像の実現に向けて「岡山型一貫教育」に取り組み、地域に発信

授業これだけは！

市内で統一し徹底

授業における「めあて」「まとめ」「表現活動」の徹底を図るとともに質の向上を図る

指導教諭の活躍

学力向上の牽引役

学力向上の優れた実践を広め、授業を公開するとともに他教員の授業づくりを支援

学力向上プロジェクト

教員のアイデアを生かす

学校現場の思いとアイデアを基に、授業づくりの学習会や学力向上フォーラムを開催

子どもの力を伸ばす授業づくり

教育課題別研究事業

(政策2-1)

本市の教育課題を踏まえ、より効果的な学習が行われるよう、子どもが主体的・協働的に学ぶ授業づくりの研究に取り組みます。研究協力校と連携し、具体的な授業実践を通して、より効果的な指導方法を探ります。

就学前教育の充実

(政策2-1)

岡山式カリキュラムに沿った就学前教育を実施するために、保育園・幼稚園・認定こども園が合同で研修する機会をもち、保育内容についての協議などを行います。

教師の英語力・指導力の向上

英語を使う教育環境の充実

【新規】英語教育推進事業

(政策1-2)

外国語指導助手(ALT)の配置を拡充することにより、教員・子どもたちともに英語を使う教育環境の充実を図ります。また、校内研修への講師派遣支援事業を実施し、教員の指導力・英語力向上を図るとともに、英語教育推進モデル事業などを実施し、指導方法や教材開発の研究を行います。

II 学校問題の解決

現状と課題

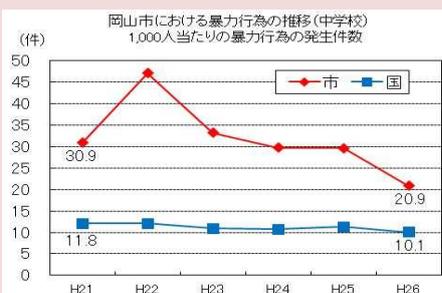
道徳性の育成

本市では、子どもたちの道徳性を高め、思いやりの心や規範意識、向上心をもった岡山っ子の育成を目指し道徳教育を推進しています。国全体ではさらなる道徳教育の充実が求められており、H30年度には小学校において、H31年度には中学校において、改訂学習指導要領における「特別の教科 道徳」が実施されます。

全国学力・学習状況調査から、本市の子どもの自尊感情は高い傾向にありますが、暴力行為については、小学校・中学校ともに暴力行為の発生率は全国よりも高くなっています。思いやりの心や規範意識を育むために、学校での道徳の時間をさらに充実させていくことが課題となっています。

内容	H27年度
自分には良いところがあると思っている児童生徒の割合	小6 81.6%(全国76.4%) 中3 69.8%(全国68.1%)

出典：H27年度全国学力・学習状況調査(文部科学省)

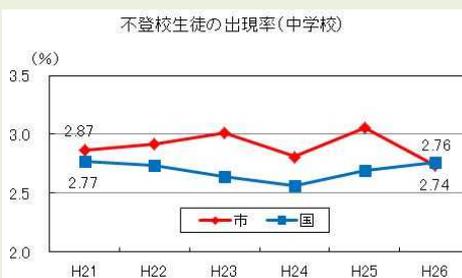


出典：児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査(文部科学省)

未然防止・早期解決

本市では、学校問題の解決に向けて、事後対応(3次的支援)に追われるのではなく、早期発見による対応(2次的支援)や問題行動等を生みにくい学校環境づくり(1次的支援)に重点を置いて取り組んでいます。特に、学級環境づくりでは、学級適応感を測る検査(hyper-QU, ASSESS)を活用した取組を進めています。

本市のH26年度の不登校の出現率は、中学校では全国平均並みまで下がりましたが、小学校では上昇し、依然として高い状況にあります。家庭訪問や個別登校の支援などを効果的に行う必要があり、支援に当たる人員が不足している小学校では「不登校児童生徒支援員」のさらなる活用が求められています。



出典：児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査(文部科学省)

重点的に取り組む事業

【拡充】はぐくむ心・あったかハート事業

思
い
や
り
上
規
心
範
の
意
育
識
成

あの人の生き方に学ぶ講演会

(政策1-1)

多様な経験をもつ方など講師を派遣し、子どもたちが自らの生き方を見直す機会を提供します。講演会を20校で実施します。

道徳授業のプロデューサー事業

(政策1-1)

校内研修に専門家を派遣し、道徳の授業力の向上を図ります。全17校で実施し、公開授業や実践発表等を通じて全市へ事業効果を拡大します。

芸術体験活動

(政策1-1)

優れた芸術鑑賞の機会を提供し、子どもたちの豊かな心の育成を図ります。劇団四季による「心の劇場」への参加を希望する小学校の第6学年を招いて実施します。

【新規】道徳地域教材資料集の作成・配付

(政策1-1)

子どもたちにとって身近な道徳地域教材を活用することで、道徳的価値についての考えや郷土への愛着を深めることができますようにします。作成した資料集は、小学校の各学級に配付します。

ストップ・ザ学校問題ー学びの場充実事業ー

防未
止然

共に成長し合う学級集団づくり推進事業

(政策4-1)

学級適応感を測る検査(hyper-QU, ASSESS)を活用することにより子ども理解を深め、よりよい集団づくりを行うことで、トラブルや問題行動等の未然防止を図ります。

早
期
発
見
対
応

スクールカウンセラー配置事業

(政策4-2)

臨床心理士などの「心の専門家」を学校に配置して専門的な相談支援を実施し、子どもやその保護者の抱えている課題の早期解決を図るとともに、教職員への助言やカウンセリング技法の研修等を行います。また、新たに配置時間を傾斜配当し、スーパーバイザーの役割を追加する。

不登校児童生徒支援員配置事業

(政策4-2)

不登校の兆候が見られる子どもに、家庭訪問や別室登校等の支援を行うことで、登校意欲を促進し、早期解決を図ります。

いじめ専門相談員派遣事業

(政策4-2)

いじめ相談専用ダイヤルを設置し、専門相談員によるいじめの対応に関する助言や緊急的・継続的相談支援を行い、早期発見・早期解決を図ります。

防深
刻
止化

学校問題解決サポート事業

(政策6-1)

解決困難な学校問題について、弁護士、精神科医師や臨床心理士等の専門相談員による助言を得ながら解決に向けて支援するとともに、研修等を実施し、学校の対応力の向上を図ります。

調
査
検
証
究

問題行動等対策事業

(政策4-2)

問題行動等対策委員会を開催し、問題行動等の要因の洗い出しや有効な対策についての審議や、いじめの重大事態の調査を行います。

Ⅲ 教職員の資質能力の向上

現状と課題

人材確保

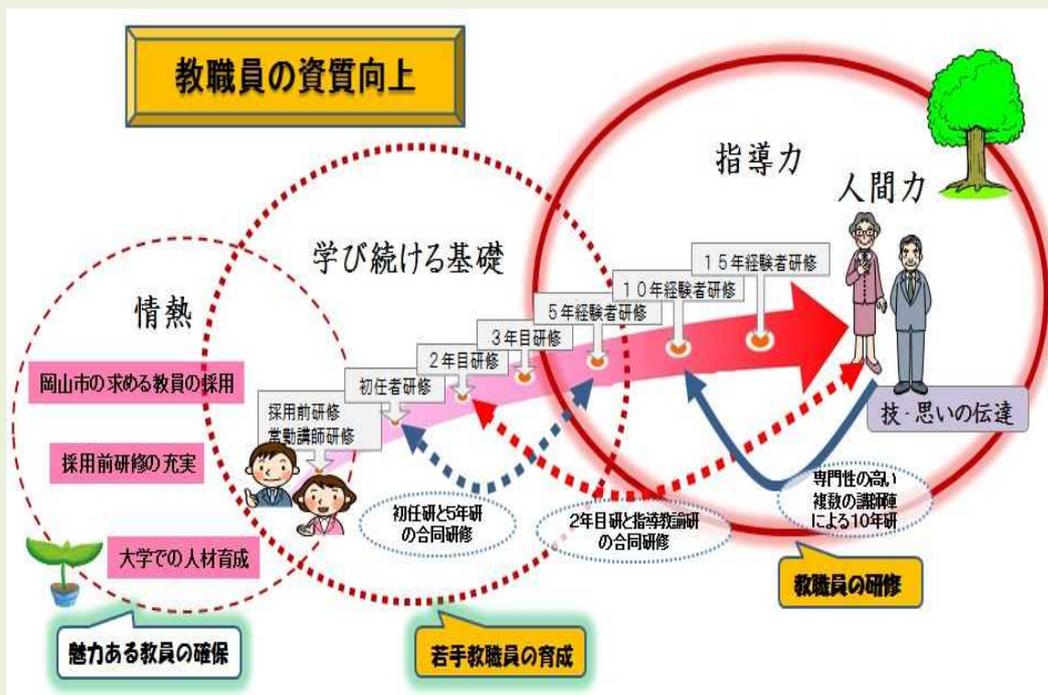
これまで、本市の課題である「学力の向上」と「学校問題の未然防止・早期解決」の実現を図るため、岡山県と共同で教員等採用試験を実施し、情熱と確かな指導力、人間的魅力のある教職員の確保に努めてきました。

平成29年度に教職員の給与負担が政令指定都市へ移譲されることを契機として、岡山市単独で採用試験を実施することにより、実施方法の改善や特色ある取組の導入をスピーディに進め、より良い人材の確保を図っていく必要があります。

人材育成

教職員の大量退職・大量採用の時代を迎えるに当たり、特に若手教職員の指導力向上支援が急務となっています。多種多様化した教育課題に対応できる、揺るぎない情熱と確かな力量、総合的な人間力を持った魅力ある教職員の育成を図る必要があります。

そこで、効果的に若手教職員の力量を高めるための研修の工夫や、校内で先輩が若手へ「技・思いの伝達」が行えるようなOJTを推進し、先輩と若手がともに学びあい互いに資質能力の向上が図れるよう支援する必要があります。



重点的に取り組む事業

教職員育成プロジェクト

本市が求める人材の確保

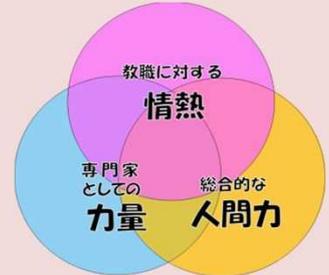
【拡充】特色ある岡山市教職員採用試験実施事業

H28年度から単独で採用試験を行うことで、岡山市が求める教職員の確保に努めます。また、岡山市の採用希望者増加と魅力ある「人材」確保を図るため、ポスター等の作成、県内外に出向いての広報活動を実施します。

新規採用時から活躍できる「人材」を育成するため、市内の教員養成課程を有する大学との連携や採用前研修を実施します。

(政策6-2)

本市の目指す教職員像



学び続ける教職員育成

【新規】若手教職員の育成事業

(政策6-2)

すぐれた授業や指導方法をつたえる

指導教諭の示範授業等の動画データを配信またはDVD化

「めあて」と「まとめ」をいかした授業づくり

学校現場でできるOJTのポイントを研究し、職場で若手を育成する方法をつたえる

各学校で組織的・計画的・意図的に推進できるOJTの方法を伝える
「教職への期待」を刷新し岡山の教育の基本を伝える

同僚性の向上

先輩の技と意思をつたえる

合同研修の機会を拡大し、先輩から若手へ思いや技を伝える
若手フォローアップ研修で講師の参加拡大を図る

何でも話し合える風通しのよい職場

教職員メンター制度

資質や魅力をつたえる

教職員や教職をめざす学生が互いに学び合える場づくり

大学と連携し、教職をめざす学生に、本市が求める教職員の資質や教職の魅力伝える

教職員研修事業

(政策6-2)

岡山市の教職員としての自覚を持ち、責任と誇りを持って職務にあたることのできるよう「学び続ける教職員」を育成します。

本市独自の研修体系を「基本研修」「若手教師フォローアップ研修」「職能研修」「教科領域等研修」「教育課題等研修」の視点から構築し、様々な教育課題に対応できる、揺るぎない情熱と確かな力量、総合的な人間力をもった魅力ある教職員の育成を図ります。

教職員の力量を高める教育研究事業

(政策6-2)

教職員に求められる資質能力「情熱」「指導力」「人間力」の向上を図るため、本市の教育課題や学校のニーズに応えた実践的な調査研究や教育情報の提供、調査研究の成果の普及や指導助言を通して、学校組織の活性化や校内研究・研修を支援します。

IV 教育環境の充実

現状と課題

かかわり

小中学校において、教職員が行っている事務処理等の業務のうち、必ずしもその専門性を必要としない業務があり、その業務を遂行するために多くの時間を費やし、児童生徒と向き合う時間や教材研究・開発などの時間が減少しているという現状があります。また、中学校の部活動指導では、専門的な技術指導ができないといった専門外の顧問への精神的な負担があるという現状があります。これらを解決するために、H27年度から、教職員の負担を軽減し、子どもと向き合う時間を確保する取組に重点的に取り組んでいます。

また、校務の効率化をめざし、教職員用パソコンを常勤教職員全員に配備し、校務支援システムを導入しました。

しかし、84.1%の教員が子どもと向き合う時間の不足を感じており、さらなる対策が必要となっています。

内容	H24年度	H27年度
子どもと向き合う時間の不足を感じる教員 (抽出調査)	85.7%	84.1%

出典：教育委員会調べ(岡山市)

安全・安心

安心して学べる教育環境の整備に向け、学校園や公民館の耐震改修整備などに重点的に取り組んでいます。学校園では、H29年度までの耐震化完了をめざし計画に基づいて耐震改修整備を進めており、耐震化率は上昇しています。学校が安全に配慮していると感じている保護者の割合は、昨年度と比べ4%増加しています。

児童生徒の生命の安全を確保するためにも、災害時の地域の避難拠点として機能させるためにも、引き続き、耐震改修整備を計画的に進めていく必要があります。

	H23	H24	H25	H26	H27
学校園施設全体の耐震化率	65.8%	72.9%	74.6%	79.1%	85.8%

出典：教育委員会調べ(岡山市)

内容	H26年度	H27年度
学校の施設・設備はよく整えられ、安全に配慮していると感じている保護者	79.6%	83.6%

出典：教育に関する総合調査(岡山市)

地域社会の教育力

各中学校区ごとに整備している公民館は、地域住民の学びの場となっています。地区公民館のない操山中学校区への新築が必要となっています。

図書館では、携帯電話や自宅のパソコンなどから図書を予約するインターネット予約が、H22年度からH26年度までの4年間で2.5倍に増加しました。それにともない、予約図書の受け取りや返却も利用者が行きやすい場所で行えるよう、市民サービスの向上を図る必要があります。

重点的に取り組む事業

子どもへの支援の充実

教職員サポートプロジェクト

学校業務アシスト事業

(政策6-3)

教職員が行っている業務(事務処理等)の一部をアシスト職員が行うことによって、教職員が本来の専門性を生かした業務に専念することができるように支援します。

部活動サポート事業

(政策6-3)

外部指導者を派遣することで、部活動顧問の教職員の負担(専門的な技術指導ができない、部活動の指導に時間が割かれる等)を軽減するとともに、開かれた学校づくりを推進します。

ICTを基盤とする情報活用能力アップ事業(校務支援システムの整備)

情報リテラシーを高め、情報モラルを身につける学習活動が効率的・効果的に行われるように、パソコン教室等の環境を整備します。また、校務の効率化により「教職員が子どもと向き合う時間をより多く確保」できるよう、教職員へのパソコン配備、学校ICTヘルプデスクの設置、校務支援システムの導入等を行います。

(政策6-3)

【拡充】学校支援ボランティア事業

(政策2-2)

学校園や地域での教育活動や環境整備などの取組に対して、学生や保護者、地域住民の様々な特技や趣味などを活かして支援します。特に学力向上や問題行動等の防止に向けた支援に重点を置き、学校現場の一層の活性化を図るために、ボランティアを希望する学生のグループ化を図るなど、新たな取組を進めていきます。

安全・安心

【拡充】学校園耐震改修整備事業

(政策6-3)

大規模災害時の児童生徒の安全を確保し、誰もが安心できる学校づくり、教育環境の向上を図るため、校舎の耐震化を推進します。

【拡充】公民館耐震改修整備事業

(政策5-2)

市民に身近な生涯学習の場としての公民館施設61館(分館24館含む)のうち、旧耐震基準で建築された30館の耐震診断結果に基づき、緊急度の高い施設から耐震改修整備を進めます。

地域社会の教育力

【拡充】操山地区公民館建設事業

(政策5-2)

市内の中学校区で唯一地区公民館が整備されていない操山地区の状況を解消するとともに、老朽化している教育相談室・適応指導教室(あおぞら清輝)を建て替えるため、教育相談室・適応指導教室と複合化し、整備します。

【新規】インターネット予約図書を受取・返却窓口拡充事業

(政策5-2)

図書館から離れた地域の市民も予約サービスが利用しやすくなるよう、現在の受取・返却場所である市立図書館10館に加えて、市民の身近な公民館に受取・返却窓口を開設します。